



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2016～2017年度 RI会長 ジョンF. ジャーム
RIテーマ 人類に奉仕するロータリー

クラブテーマ「出会いに感謝&ありがとう」会長 中山和雄

副会長 山口辰哉 幹事 米山晴敏

第1303回 例会 2016.12. 2(金)晴

司会:山口辰哉君 指揮:勝又佳員君
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 中山和雄君



今晚は、会長職も幹事の米山さんを始め各委員長さんそしてせせらぎ三島ロータリーアンすべての皆様のおかげで、5ヶ月が過ぎました。今日の例会後の理事・役員会そして次年度理事・役員会の専攻指名委員会、それから次々週のクリスマス家族会

と行事も続きますが今後ともよろしくお願ひいたします。

今日は、大房さんの紹介をさせていただきます、大房さんは北中から野球で東海大学付属高校にスカウトされ高校3年生の時にはキャプテンで甲子園に出場しています。守備はサード、打順は3～5番のクリーンナップを任されていました。大学でも野球を続けていましたが3年生の時に腰を痛め現役を続けることが困難になったそうです。その時の同期に現巨人軍の内田一軍バッティングコーチもいたそうです。卒業後はユニバーサル証券に入社し日大高校の野球部の監督として熱血ぶりを発揮し、監督になり10年、熱血ぶりを発揮しすぎたため監督人生はジ・エンドとなりましたが、我がクラブの服部君、杉山君も当時ごかれた野球少年でした。二人に聞くと指導方針も理にかなった所も多々あったそうで、数年後日大高校野球部はそのお蔭で甲子園出場を達成しています。

ロータリーに入会したきっかけは、せせらぎ三島ロータリークラブの前身で三島南ロータリークラブが発足して7ヵ月目に現兼子パスト会長に声を掛けて頂き、その当時は一業種一名でしたので三島ロータリークラブには藍澤証券、三島西ロータリークラブには第一証券の方が入会しており、三島南ロータリークラブにはまだ証券マンはいないからと勧められ入会させていただきました。スポンサーは兼子パスト会長・元会員の9代幹事石渡さんでした。当時大房さんは見晴学園・佐野学園の障害者ボランティア活動をしておりましたが、一人での活動に限界を感じていたところ、ロータリーの仲間に入れて頂き皆さんにも共感していただきましたので、見晴学園ではソフトボールのコーチとして、また視覚障害者のグラウンドベースボールはコーチとして静岡県代表で国体にも参加させていただきました。そして全国視

覚障害者ゴルフ大会を富士エースゴルフ倶楽部で開催が出来たことは、ロータリーアンの皆さんの協力があったからこそ出来たボランティア活動でしたとの事です。

入会当時は会場が三島プラザホテルでしたがメイキャップが多く、SAに所属されていましたが当時のSA委員長の方にはご迷惑をおかけいたしました。そして当クラブに女性会員の入会を勧めたのも大房さんが初めてだったそうです。当時はまだロータリークラブの会員は男性と決めていた時代の風潮にこだわっていた人達も少なくなかったのも、何人かの先輩ロータリーアンにバッシング浴びたのも、つい先日のように思われます。との事でした、以上大房さんの紹介でした。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	22/38	57.89%	32/38	84.21%
今回	29/38	76.32%	会員総数	40名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

内田君、小島君、小林君、杉山(順)君、仲原君、中本君、服部君、矢岸君、山口(雅)君

(*出席免除会員の欠席者 大房君、澤田君)

おめでとう

入会記念日

12月5日 杉山 隆君

幹事報告

幹事 米山晴敏君

- ①例会終了後理事役員会を開催します。
- ②御殿場RCより50周年記念式典出席のお礼が届きました。
- ③例会場変更について、具竹と3クラブが基本合意しました。本日の理事会で承認されましたら会長から皆さんに発表します。

※紙面の都合で理事会報告は次号に掲載します

私は、行政書士という職業を営んでおります。行政書士のキャッチコピーは、「あなたの街の法律家」と言いまして、若干法律に係る仕事をしております。そこで、本日は何かと堅苦しいイメージのある法律を、少しでも身近に感じていただけたら、「身近な法律の話」と題して卓話をさせていただきます。司法書士、弁護士の方がいる前で、このような話をするのは気恥ずかしいのですが、ご容赦願います。

まずは、どなたにも関係のある誕生日や年齢に関する法律「年齢の計算に関する法律」をご紹介します。この法律は、明治35年に制定された法律です。それまでは、「数え年」で年齢を計算していましたが、この法律以降「満年齢」で計算することが定められました。数え年は、東アジアで広く用いられていましたが、現在では公式には廃止されております。しかしながら、韓国では今でも民間では広く用いられているようです。日本でも本法律施行後も広く用いられてきましたが、昭和24年にあらためて満年齢を推奨する法律が施行されたことで、現在ではお葬式や占い等限られた場面でしか使用されなくなったようです。では、何故満年齢が推奨されたのでしょうか？いくつか理由があるのですが、大きな理由の一つに配給制度があったようです。生まれて間もない子どもにキャラメルを配給したり、満年齢では50代なの

に数えて60代のため配給量を減らされたり・・・と言った問題があったようです。さて、この法律の一番面白い(?)ところは、年齢の加算についての定めだと思います。年齢は誕生日の前日の24時に加算されるという内容です。誕生日の前日の24時は、誕生日の0時と同じですので、あまり意味が無いように思えますが、日を単位とする法律の場合、その日の初めから効力が生じるため、誕生日の前日に年齢が加算されます。この問題が一番顕著に表れるのが、学校現場です。1学年が4月2日生まれから翌年4月1日生まれの生徒であることに違和感を覚えた方もいるかもしれません。これは、年齢の計算に関する法律で、誕生日の前日に年を取ると定められているため、4月1日～翌年3月31日で同年齢になる生徒を同学年とするためのものなのです。

続いて、本籍地についてご紹介いたします。ご存知の方も多いと思いますが、本籍地は日本全国各地でも好きなのところに定めることができます。生活の本拠地である住民票上の「住所」とは異なります。好きなのところを本籍地としているため、富士山山頂やディズニーランド、竹島・北方領土・尖閣諸島等々を本籍地としている方も多くおります。ちなみに、本籍地にしている日本国民が一番多いのが皇居、2番目が大阪城、3番目が甲子園のようです。

皆様但至少でも法律を身近に感じていただけたら、本日の卓話の意義もあるかと思えます。ご静聴いただき、ありがとうございました。



スマイルボックス

原 兄多君:二週お休みしました。本日卓話を担当いたします。お聞き苦しいこともあるかと思いますが、ご容赦願います。

中山和雄君:大変遅くなりましたが、ゴルフ同好会の会長杯が出来てきました。前回優勝の土屋夫人に預けました。

米山晴敏君:長泉夢花火が成功裡に終了しました。感動しましたのでスマイルします。

篠木喜世君:先日、妊娠初期の職員の体調不良の折、中村先生に急遽診て頂きました。その職員は中村先生に取り上げてもらった人です。次女の旦那さんも中村先生に取り上げて下さり、結婚式で流そうと思っている生まれた時のビデオに中村先生の

手が映っています！地域に根差して命を生み出すお仕事をされているって素晴らしい！と感動しましたので、スマイルします。

中村 徹君:今年はロータリー財団100周年になり、「ロータリーの友」によると、世界各国で行事報告がなされています。先月11月27日(日曜日)東京駅前JPタワーで、日本ロータリー学友会主催のロータリー財団100周年記念シンポジウムがあり、会長幹事さんのご配慮で行かせていただきました。ありがとうございました。「ロータリーの友」の来月号には、きっと二神編集長による記事ができるかと思えます。RI会長も来日された、「司会者、シンポジスト紹介」をご紹介します。

プログラム

- 12:30 登録開始
 13:30 開会、主催者挨拶:日本ロータリー学友会代表
 13:35 国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム氏挨拶 及び
 「ロータリー財団100周年学友世界人道奉仕賞」発表
 13:45 緒方貞子氏(1951年国際親善奨励学生:東京RC)同賞受賞
 13:50 財団学友による100周年記念シンポジウム
 司会:榎原美樹
 シンポジスト:中満泉、赤阪陽子、國枝美佳、阿阪奈美、金子由佳
 (経歴については次のページを参照)
 16:00 質疑応答
 16:30 主催者謝辞、閉会

学友世界人道奉仕賞について

キャリアと活動を通して、ロータリーの人道奉仕の哲学を体現した優れた学友を表彰するもので、毎年1名が受賞します。ロータリー財団100周年を祝うため、今年度は「ロータリー財団100周年学友世界人道奉仕賞」として、緒方博士の受賞が決定しました。

緒方貞子博士略歴



1927年、東京生まれ。外交官の父の勤務で幼少期を米国と中国で過ごす。聖心女子大学卒業後の1951年、日本から国際親善奨励学生第2期生として、アメリカ・ジョージタウン大学に留学。帰国後は日本全国を巡って(当時は日本全体が一つの地区)、親善大使としての役割を果たす。ROTARYで始まるロータリーソングは思い出の歌。カリフォルニア大学バークレー校より政治学博士号を取得。国連日本政府代表部公使、上智大学教授などを経て、1991年から2000年まで国連難民高等弁務官。UNHCRのトップとして、クルド難民問題、旧ユーゴスラビア・バルカン半島危機などに対応。本日のシンポジスト、中満氏と赤阪氏は当時の部下にあたる。2003年から2012年までJICA理事長。アフガン復興支援首相特別代表、国連「人間の安全保障」委員会議長を歴任。父方の曾祖父は犬養毅、岳父は、朝日新聞副社長、副総理を務めた緒方竹虎。

司会者紹介



榎原美樹 NHK国際放送局ワールドニュース部編集長
 *1984年国際親善奨励学生 豊中RC(第2660地区)

シンポジスト紹介



中満泉 国連事務次長補 国連開発計画総裁補兼危機対応局長
 国連事務総長特別顧問(難民・移民サミットフォローアップ担当)
 *1987年国際親善奨励学生 厚木RC(第2780地区)



赤阪陽子 国連難民高等弁務官事務所(UNHCR) タンザニア副代表
 元、シリアのダマスカスにて上級フィールド調整官
 *1992年国際親善奨励学生 富田林RC(第2640地区)



國枝美佳 東京大学大学院博士課程在籍
 元、国際児童基金(ユニセフ)西・中央アフリカ地域事務所
 ポリオ予防接種、モニタリング・評価担当
 *1996年国際親善奨励学生 藤沢北RC(第2780地区)



阿阪奈美 国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)
 タイのカンチャナブリにて保護官
 元、UNHCR南スーダンおよびヨルダンにて保護官
 *2005年国際親善奨励学生 東京中野RC(第2560地区)



金子由佳 日本国際ボランティアセンター・エルサレム事務所現地代表
 *2010年平和フェロー 熊谷東RC(第2570地区)

(注)現在は東京セントラルパークRC